

施工説明 (工事店様へ)

- 施工前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。
- このタイムスイッチは床下換気扇用ですので他の用途に使用しないでください。
- 裏面は取扱説明書になっていますので、施工後必ずお客様にお渡しください。
- けがや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

安全上のご注意

- 万一故障が原因で人身事故や拡大損害が予測される場合は、二重回路などの安全対策を行ってください。
- 絶対に分解や改造をしないでください。
感電・火災・故障の原因になります。
- 適正な電線を使用してください。
不適正な電線の使用は火傷や火災の原因となります。
- 端子ねじは確実に締め付けてください。
ゆるみが生じると火災の原因となります。
- 水や油のかかる場所には使用しないでください。
感電・火災・故障の原因になります。
- 施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
切らずに行くと感電の危険があります。
- 定格外の電源に接続しないでください。
火災・故障の原因になります。
- 定格以上の負荷を直接制御しないでください。
火災・火傷・故障の原因になります。
この場合、電磁接触器等をご使用ください。

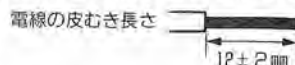
施工上のご注意

- 次のような場所では使用しないでください。
誤動作・故障・漏電の原因になります。
 - 0℃以下、+40℃以上の場所
 - 屋外などの雨や直射日光の直接当たる場所
 - 結露が生じる場所
 - 亜硫酸ガスやアンモニア等の腐食性ガスのある場所
 - 湿気や粉塵の多い場所
 - 振動や衝撃の発生する場所
 - 高周波ノイズ・電界・磁界の強い場所
- 電源端子と負荷端子を間違わないでください。
負荷回路の短絡や誤動作・故障の原因になります。
- 負荷容量が定格以上の場合、または三相負荷の場合は電磁接触器等をご使用ください。
- 電源側には、「電気設備に関する技術基準」「労働安全衛生規則」などの関連法規にしたがって、保護装置(漏電遮断器・配線用しゃだん器・ヒューズなど)を設置してください。
- 施工後は結線が正しいことを十分ご確認いただいたうえで、主電源を入れ動作確認テストを行ってください。
- 施工前に必ず床下換気扇の施工説明書もお読みください。

結線のしかた

- 施工前に必ず床下換気扇の施工説明書もお読みください。
- 結線には軟銅線の600Vビニール絶縁電線φ1.6mmを使用してください。

1. 電線の被覆を12±2mmむく(除去する)。

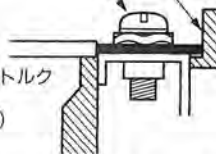


【ご注意】

- 皮むき時、電線にキズ等を付けないでください。発熱、断線の原因となります。

2. 電線を下図の要領で接続する。

ねじは確実に締め付けてください。電線は先端がこの面に当るまで差し込んでください。



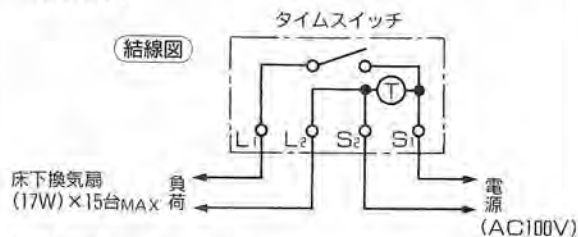
- 適正締め付けトルク
0.8~1N・m
(8~10kgf・cm)

- 圧着端子を使用する場合、絶縁チューブ付先開形圧着端子(M3.5ネジ用)をご使用ください。

3. 施工後は、結線が正しいことを十分確認したうえで、主電源を入れ動作テストを行ってください。

【ご注意】

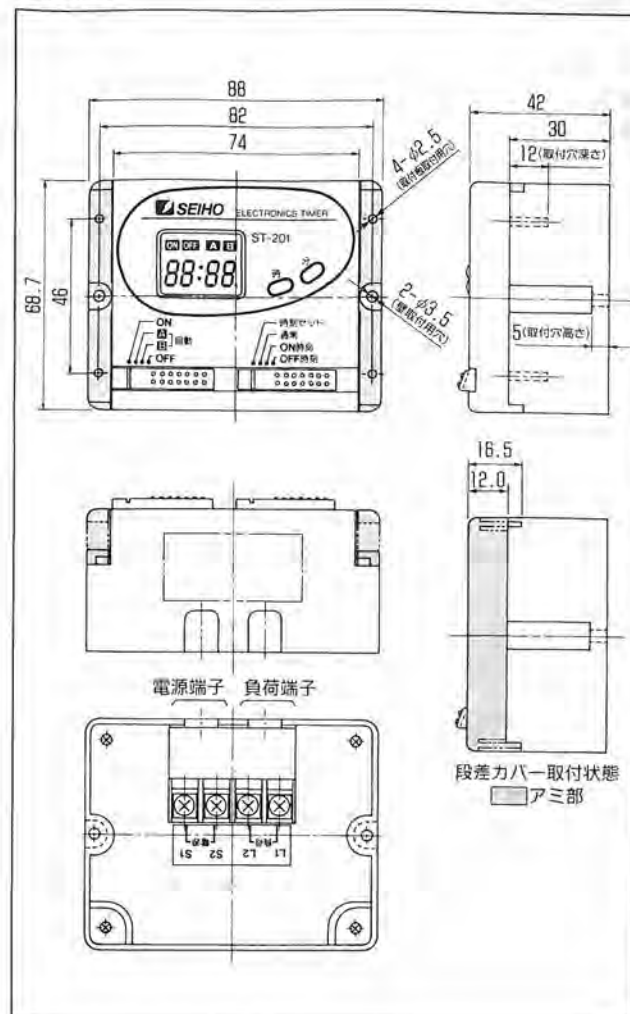
- 負荷回路を短絡させるとタイムスイッチの故障の原因になります。



【ご注意】

- 定格電流以上の負荷をつながないでください。

寸法図



定格・性能概要

定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz/60Hz
駆動方式	全電子式(水晶発振式)
消費電力	1.5W
時刻表示方式	時・分デジタル表示(液晶表示)
回路	電源負荷同一回路(有電圧接点出力)
負荷	手動ON・OFF 入・自動(A)・切スイッチ付 モータ負荷 換気ファン(17W)×15台Max
方式	押しボタン方式
最小単位	1分
最小間隔	1分
最大間隔	23時間59分
動作数	A動作
時間精度	±15秒/月(25℃にて)
タイマー動作精度	時間精度に追従
停電補償時間	100時間
使用電圧範囲	AC90~110V
使用周囲温度	0℃~40℃
型式認可番号	〒41-22573

取扱説明

- ご使用前に必ずこの説明書をお読みのうえ正しくお使いください。
- その後、大切に保管してください。
- けがや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

安全上のご注意

- 施工は、必ず専門業者の方にご依頼ください。
- 絶対に修理や分解・改造はしないでください。
感電・火災・故障の原因になります。
修理・点検等は必ず販売店・施工店にご依頼ください。
- 水や油をかけないでください。
感電・火災・故障の原因になります。
- お手入れは電源を切ってから行ってください。
感電や事故の原因になります。

使用上のご注意

- 発熱物を近づけないでください。
故障や劣化の原因となります。
- 汚れは石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
変色、変質の原因となります。
- タイムスイッチ使用中、ときどき床下換気扇の動作状態をご確認ください。
- タイムスイッチに大きな荷重をかけないでください。
故障や破損の原因となります。
- バックアップ用電池の交換は、お客様自身では、交換できません。交換の場合は、販売店にご相談ください。

各部の名称



設定前のご注意

- 各動作モードと設定モードは2個のスライドSWにより選択されます。

①側SW / ②側SW	時刻セット	通常	ON時刻	OFF時刻
ON	現在時刻	常時ON動作の設定		
A		自動A動作	AのON設定	AのOFF設定
B	の設定	自動B動作	BのON設定	BのOFF設定
OFF	常時OFF動作の設定			

【ご注意】各設定時に参照してください。

現在時刻の設定方法

- ①②側SWを「時刻セット」位置にします。
①側SWは任意の位置にします。
- ②時・分ボタンで「時」・「分」を設定します。
●1回押すごとに1時間(分)送れます。
●1秒以上押し続けると早送りになります。
- ③時報に合わせて②側SWを「通常」位置にした時点で0秒スタートします。

【ご注意】
時計表示は24時間制です。



タイマーの設定方法

- タイマーはA動作、B動作の2パターンが独立に設定できます。

(例) A動作にて午前10時10分「ON」午後4時30分「OFF」の場合

- ①①側SWを「A」位置にします。
②側SWを「ON時刻」にします。
- ②時・分ボタンで「時」・「分」を設定します。
- ③②側SWを「OFF時刻」にします。
- ④時・分ボタンで「時」・「分」を設定します。



- 設定後A動作させる時は①側SWを「A」位置
②側SWを「通常」位置にしてください。

(例) B動作にて午前9時30分「ON」午後1時30分「OFF」の場合

- ①①側SWを「B」位置にします。
②側SWを「ON時刻」にします。
- ②時・分ボタンで「時」・「分」を設定します。
- ③②側SWを「OFF時刻」にします。
- ④時・分ボタンで「時」・「分」を設定します。



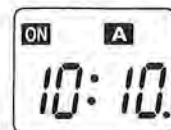
- 設定後B動作させる時は①側SWを「B」位置
②側SWを「通常」位置にしてください。

【ご注意】
現在時刻が設定されていない場合、タイマー設定ができませんので、先に現在時刻の設定を行なってください。

自動A動作、自動B動作

(自動A動作の場合)

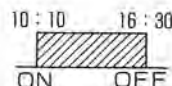
- ①側SWを「A」位置にします。
- ②側SWを「通常」位置にします。



出力ON時の表示



出力OFF時の表示



(自動B動作の場合)

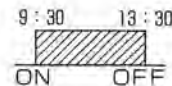
- ①側SWを「B」位置にします。
- ②側SWを「通常」位置にします。



出力ON時の表示



出力OFF時の表示



設定されたON時刻からOFF時刻まで出力ONされます。毎日繰り返し動作となります。

【ご注意】自動A、自動B動作させるにはON時刻、OFF時刻を設定してください。

常時ONの動作

- ①側SWを「ON」状態にします。
タイマー設定に関係なく出力ONを保持します。
現在時刻が設定されていない状態「0:00」表示が点滅のときでも出力はONされます。



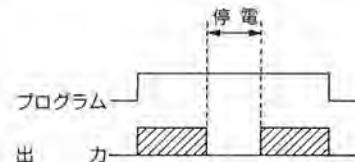
常時OFFの動作

- ①側SWを「OFF」状態にします。
タイマー設定に関係なく出力OFFを保持します。



動作上のご注意

1. タイマー設定でON時刻、OFF時刻の一方でも設定されていない場合、又は、同時刻に設定された場合はタイマー動作しません。
2. 停電中は表示が消えると共に出力がOFFされます。停電補償時間以内に復帰後はプログラムに従った出力となります。



3. 停電補償時間以上経過後、復電した場合0:00表示が点滅します。この時は、現在時刻の設定、タイマー時刻の設定を行なってください。